

大村湾活性化に向けた交流拡大プロジェクト～海フェスタ大村湾～

実績報告

1 趣旨

私たちの生活に多くの恩恵をもたらしてきた宝の海である大村湾を学び・遊び・体験を通し、興味や好奇心を高める活動によって地域資源を見つめ直し、大村湾の豊かな恵みを感じ、海との繋がりを更に深める取組を行う。この取組を行うことで、住民自らが大村湾を活かしたまちづくりに積極的に取り組むことにつなげ、行政と住民が協働で地域の持続的な活性化を進めていく。

今回は取組を大村湾流域の市町と連携し、「大村湾で人が繋がる・世代が繋がる・地域が繋がる」をテーマに、大村湾を1つのエリアとして地域住民を巻き込んだ取組を実施する。

2 主催

海フェスタ大村湾連絡協議会

(長崎県環境保健センター、NPO 法人長崎海洋環境研究会、佐世保市、大村市、西海市、時津町、長与町、東彼杵町、川棚町、波佐見町)

(事務局 佐世保市、大村市、西海市、時津町、長与町、東彼杵町、川棚町、波佐見町)

3 開催日程

7月～11月

4 集客実績 ※別表1

37,815人(目標:39,500人)

5 事業費

予算額 71,600,000円

6 内容

「海と日本 PROJECT サポートプログラム申請ガイド」に記載されている『期待するアクション』として以下に紐づく内容で実施。

【アクション A：海を学ぼう】

【アクション B：海をキレイにしよう】

【アクション C：海を味わおう】

【アクション D：海を体験しよう】

【アクション E：海を表現しよう】

【別表1 海フェスタ大村湾参加実績】

No.	市町	イベント	開催日程	予定人数	実績人数
					合計
1	全体	大村湾Zekkeiライド	11月5日(日)	1,000	247
2	長崎市	大村湾に生息する稚魚の放流体験事業	9月20日(水)～21日(木)	100	100
3	諫早市	種苗放流体験学習会	8月8日(火)	50	60
4	西海市	無人島さかな釣り大会	7/22(土)、9/2(土)、9/23(土)	80	49
5	西海市	無人島サバイバルイカダレース	7月26日(水)、9月9日(土)	40	27
6	時津町	海フェスタ大村湾inとぎつ夏まつり	8月27日(日)	35,000	33,070
7	時津町	とぎつ稚ナマコ体験放流学習会	9月25日(月)、9月26日(火)		40
8	東彼杵町	みんなでつなぐ大村湾(仮)「海の遊びでつなぐ大村湾」	8月5日(土)	200	中止
9	東彼杵町	みんなでつなぐ大村湾(仮)「里山、川、海の生き物でつなぐ大村湾」	10月8日(日)	50	40
10	川棚町	海上綱引き大会	7月16日(日)	500	1,200
11	川棚町	長崎川棚海フェスタ2017	10月22日(日)	1,000	1,189
12	波佐見町	第23回全国棚田サミットへの大村湾ブース出展	9月28日(木)、9月29日(金)	600	644
13	波佐見町	シーボルト川づくり塾	7/2(日)、8/20(日)、10月29日(日)	50	38
14	大村市	夏休み親子ふれあい稚魚放流・船釣り体験(農林水産振興課)	7月29日(土)、10月7日(土)	100	62
15	大村市	海フェスタ大村湾in松原海水浴場(観光振興課)	7月22日(土)	500	450
16	大村市	海遊び伝習塾(地方創生課・NPO法人馬場先ポート自主管理会)	7月29日(土)、7月30日(日)	100	449
17	全体	大村湾を活かしたまちづくりシンポジウム・海フェスタ大村湾閉会式	11月25日(土)	130	150
合計				39,500	37,815

アクションA:海を学ぼう

●稚魚放流体験 参加者数 262 名

稚魚の放流によって豊かな恵みを育む存在であることを知る契機とする。また、漁業者等からの説明や船上からの釣りなどを併せて実施し、子どもたちが大村湾の学びと共に、生息する魚を肌で感じ、海を大切にすることを意識を醸成。

■【大村市】夏休み親子ふれあい稚魚放流

・船釣り体験 62 名

7月29日(土)、10月7日(土)



■【諫早市】種苗放流体験学習会

60 名

8月8日(火)



■【長崎市】大村湾に生息する稚魚の放流

体験事業 100 名

9月20日(水) 21日(木)



■【時津町】とぎつ稚ナマコ体験

放流学習会 40 名

9月25日(月)、26日(火)



●【波佐見町】シーボルト川づくり塾 参加者数 38 名

180 年前にシーボルトが中心にまとめた「日本動物誌」の魚に思いを馳せ、「シーボルトが見た魚たちを探そう」と題した魚の調査を行うほか、はさみ川の水環境調査・環境診断を行い、海へつながる川を守ることが大村湾の水環境保全につながることを学ぶ契機とした。

7月2日(日)、8月20日(日)、10月29日(日)



●【波佐見町】第23回全国棚田(千枚田)サミット 参加者数 644名

全国から棚田関係者が集まるサミット時に、棚田が海の環境保全に欠かせないことを啓発するブースを設置。

9月28日(木)、9月29日(金)



アクションB:海をキレイにしよう

●海フェスタ大村湾 in とぎつ夏まつり

※「アクションD:海を体験しよう」内で清掃活動を実施

※参加人数はアクションDで計上

アクションD:海を体験しよう

●【西海市】無人島さかな釣り体験 参加者数 49 名

無人島に上陸し、さかな釣りを体験する。この体験を通し、海遊びの楽しさ、生息する魚種の豊富さ、海の環境を学ぶ契機とした。

7月22日(土)、8月26日(土):雨天中止、9月2日(土)、9月23日(土)



●【川棚町】海上綱引き大会 参加者数 1,200 名

川棚町の大崎海水浴場のオープンに合わせ、海遊びの楽しさを体験してもらい、大村湾への興味・関心を持ち、大村湾を大切にする気持ちを醸成。

7月16日(日)



●【大村市】海フェスタ大村湾 in 松原海水浴場 参加者数 450 名

大村市唯一の海水浴場である松原海水浴場の海上に、より多くの方が海を楽しむ機会・触れ合う機会を創出するとともに、浜辺では大村湾で獲れた魚介類を使った食事を振る舞い、海での遊びや海産物を食することを通じて海の大切さを醸成。

7月22日(土)



●【大村市】海遊び伝習塾 参加者数 449 名

日頃経験することが少ない海のレジャー体験を通して、海についての見聞を広げるとともに、心に残る思い出を作った。

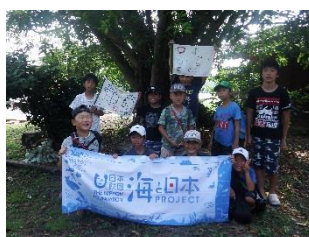
7月29日（土）、30日（日）



●【西海市】無人島サバイバルいかだレース 参加者数 27 名

無人島の竹を使用しいかだづくりを体験するほか、作成したいかだでレースを行い、チームワークの大切さや海遊びの楽しさを学んだ。

7月26日（水）、9月9日（土）



●【時津町】海フェスタ大村湾 in とぎつ夏まつり 参加者数 33,070 名

大村湾に隣接する時津ウォーターフロント公園で開催する夏まつりに合わせ、沿岸の清掃活動や稚魚放流体験、大村湾で獲れた新鮮な魚介類の販売、魚掴み大会を実施するとともに、海の重要性を印象付ける花火ショーを実施。

8月27日（日）



●【東彼杵町】みんなでつなぐ大村湾 参加者数 40 名

河口や海水浴場周辺でのカヌー体験を行う「海の遊びでつなぐ大村湾」、大村湾だけでなく海につながる河川や里山の環境保全活動や生き物調査など自然環境を考える「里山、川、海の生き物でつなぐ大村湾」の2つをテーマにイベントを実施。

8月5日（土）：台風接近により中止、10月8日（日）



●【川棚町】長崎川棚海フェスタ 2017 参加者数 1,189 名

川棚町の大崎海水浴場を活用し、シーカヤックやBBQ、海釣り体験等の海遊びの楽しさを体験してもらい、大村湾への興味・関心を持ち、大村湾を大切にする気持ち醸成。

10月22日（日）



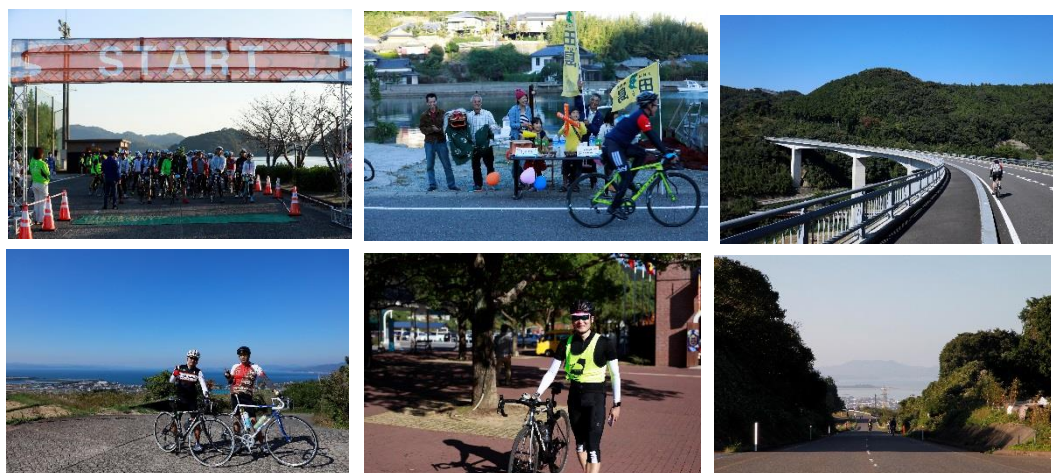
アクションA～E

●【大村湾流域】大村湾ZEKKEIライド 参加者数 247 名

の大村湾を「絶景」をキーワードに自転車ライドイベントを実施する。

山・海・街を巡ることができる日本全国でも数少ないコースを活かし、全国からの誘客を図るとともに、各自治体ではエイドステーションを設定し、特産品や郷土芸能等のおもてなしを実施することで、大村湾を通した全国的なプロモーションを行うとともに、全国へ大村湾の魅力を発信。

11月5日（日）



●【大村市】大村湾を活かしたまちづくりシンポジウム・海フェスタ大村湾閉会式

参加者数 150 名

大村湾流域市町の行政機関、議会関係者、民間団体や流域住民が出席し地域間連携事業や海を活かしたまちづくり等を学ぶシンポジウムを開催。

11月25日（日）

